

「新未来『創造』とくしま行動計画」及び 「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」の評価結果の概要

1 県政運営評価戦略会議について

政策推進に係る「県民意見の積極的な反映」と「県民目線からのチェック機能の強化」を図り、「徳島ならではの」の「新たな事業評価システム」を創造するため、県政運営評価戦略会議（以下「戦略会議」という。）を設置している。

この戦略会議において、平成27年7月に策定された県政の運営指針である「新未来『創造』とくしま行動計画」（以下「行動計画」という。）及び挙県一致で地方創生を推進するための「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」（以下「総合戦略」という。）の施策や事業について、評価を行った。

評価結果は、「徳島県総合計画審議会」、「地方創生“挙県一致”協議会」にそれぞれ提言され、次期総合計画の策定、既存事業の見直し、新たな施策・事業の展開等につなげていくこととしている。

また、戦略会議においては、「とくしま目安箱」等に寄せられた県民からの意見・提言について、優れたものを選定し、「徳島県総合計画審議会」に提言することにより、県政への積極的な反映を図ることとしている。

2 評価方法について

（1）評価対象

行動計画に位置付けられた主要施策（144施策）及び総合戦略に位置付けられた主要事業（131事業）を対象とした。

（2）評価の視点

今年度は、行動計画の最終年度であることから、次期総合計画の策定を見据えて、具体的には、「成果」と「計画目標の達成見込み」を重視した「プレ総括評価」として、「平成27年度から平成29年度までの取組及び進捗状況」と「今後の取組方針及び計画目標の達成見込み」の2つの視点から評価するとともに、次期総合計画の策定と総合戦略の深化につながるよう、戦略会議の委員の提言に重きを置いた「未来志向型の政策評価」として実施した。

（3）会議の開催状況

今年度の戦略会議（評価会議）は、行動計画について3回、総合戦略について1回開催した。

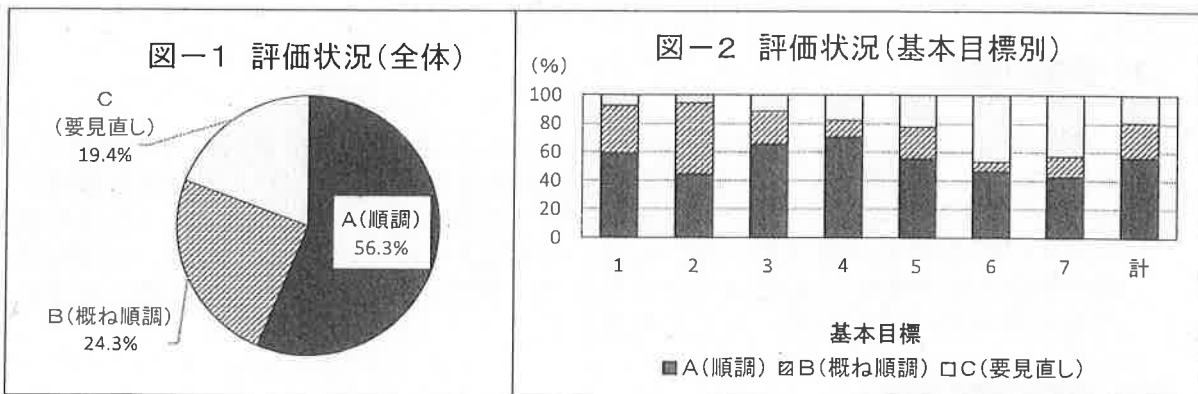
3 行動計画の評価結果について

(1) 総括

「A（順調）」と評価されたものが81施策（56.3%），「B（概ね順調）」と評価されたものが35施策（24.3%），「C（要見直し）」と評価されたものが28施策（19.4%）となった。

表－1 主要施策の評価結果

基本目標	評価区分						主要施策数 (件)
	A 順調	(%)	B 概ね順調	(%)	C 要見直し	(%)	
1 「ふるさと回帰・加速とくしま」の実現	16	59.3	9	33.3	2	7.4	27
2 「経済・好循環とくしま」の実現	8	44.4	9	50.0	1	5.6	18
3 「安全安心・強靱とくしま」の実現	17	65.4	6	23.1	3	11.5	26
4 「環境首都・新次元とくしま」の実現	12	70.6	2	11.8	3	17.6	17
5 「みんなが元気・輝きとくしま」の実現	15	55.6	6	22.2	6	22.2	27
6 「まなび・成長とくしま」の実現	7	46.7	1	6.7	7	46.7	15
7 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現	6	42.9	2	14.3	6	42.9	14
計	81	56.3	35	24.3	28	19.4	144
参考 H29年度の評価結果	83	57.6	36	25.0	25	17.4	144



(2) 基本目標別 意見提言 (抜粋)

基本目標1 「ふるさと回帰・加速とくしま」の実現

- 成年後見制度については、親族や専門機関のみで後見人需要を賄えるものではないので、市民後見人の養成に一層力を入れ、もっと身近に利用できるものにしてもらいたい。
- ユニバーサルデザインも含めて、今後のまちづくりで求められているのは「QOL」なので、例えば、車を使わなくても豊かな生活ができるようなまちづくりの指標、「量」ではなく「質」的な指標を加えてもらいたい。

基本目標2 「経済・好循環とくしま」の実現

- 県産材の消費拡大について、今後の公共施設の新築・改築は県産材を用いた温かみのある木造建築とすることで、長い時間はかかるが、徳島の一つのアピールポイントにできるのではないかと。
また、現在では中高層ビルを木造建築する工法も確立されていると聞いているので、大規模な建築事業への県産材の活用を奨励してもらいたい。
- 徳島のブランドである藍は、県内外から需要が増しているが、原料のすくもも含めて、生産が追いつくかどうかネックとなっているので、藍の増産に係る目標を加えてもらいたい。

基本目標3 「安全安心・強靱とくしま」の実現

- 地域防災力の強化のためには、人命救助や防災に係る知識の豊富な消防団(員)の存在が大きいので、年齢等を理由に消防団員が退任する際、引き続いて地域の自主防災組織に加入してもらおう仕組みができないか。
- 犬猫の殺処分を減らすためには譲渡先確保が大切であるが、動物愛護管理センターにおける手続が難しく譲受けを断念する方もいると聞き及ぶので、講習等の必要性は理解できるものの、手続がもう少しスムーズになれば譲渡先が広がるのではないかと。

基本目標4 「環境首都・新次元とくしま」の実現

- 県民に対する環境啓発とともに、特に農家に対して生態系に配慮した生産技術を指導してもらえれば、農家も日頃から生物多様性の保護に寄与できるのではないかと。
- 美しく豊かな環境を「未来への贈り物」とするためには、現在を生きる我々が所与の恵まれた自然環境に安住してはならないので、学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じて、引き続き環境の大切さを伝えていただきたい。

基本目標5 「みんなが元気・輝きとくしま」の実現

- ひきこもり対策に関しては、「ひきこもり支援員」の増員も含め、ひきこもりに悩む家族がいつでも相談でき、また、相談を受けた行政窓口が速やかに行動に移せる体制の整備に努めてもらいたい。

なお、支援員を養成するに当たっては、まずは、臨床心理士等の専門職が支援員としてだけでなく広く活躍できる場を用意するとともに、その労働条件を含めた社会的評価を上げることが重要ではないか。

- 食育に関して、学校給食への地場産物の活用は、「食品数」ではなく「重量」を目標とし、1日に必要な野菜摂取量の3分の1以上を、できれば徳島産の野菜で賄う学校給食が実施されれば、肥満児・糖尿病対策ひいては医療費節減、農業振興等、多方面の好循環を生み出せるのではないか。

基本目標6 「まなび・成長とくしま」の実現

- 高校生の留学者数については、採用に上限がある募集型の留学制度もあるので、県内高校生がそこで何人採用されたかというよりも、むしろ何人応募したか、「やる気」や「志」が高い学生がどれだけいたかが重要なので、意欲的な学生を育てる施策に取り組んでももらいたい。

一方で、スポーツに関しては、志が高いほど指導体制の充実した県外高校に出て行ってしまいうので、学生トップアスリートに県内高校を選んでもらえる魅力を磨く必要があるのではないか。

- 教育に関しては、トップエリートを育てることもさることながら、平均値を上げることも大事なので、誰もが留学に関心を持ったり、学力・体力の全国平均を超えていけるような施策も積極的にお願いしたい。

基本目標7 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現

- 宿泊者数に関しては、日本の中で徳島を選んでもらうため、県西を訪れ、地域の方々と心の交流をすることに満足感を得たというインバウンドの話もヒントに、官だけではできない観光施策に民としっかり連携して取り組んでももらいたい。

また、インバウンドや国内観光の流れが今後どうなるかは予想できないので、時流が変わったときに底力のある資源の醸成及び人材の育成をサポートしてもらいたい。

- 一部の四国遍路道については、草が生い茂って見通しが悪い等、巡礼する方にとって歩きづらい箇所が見受けられるので、道路管理者が協力し合い、世界遺産登録に向けて整備や管理に取り組んでももらいたい。

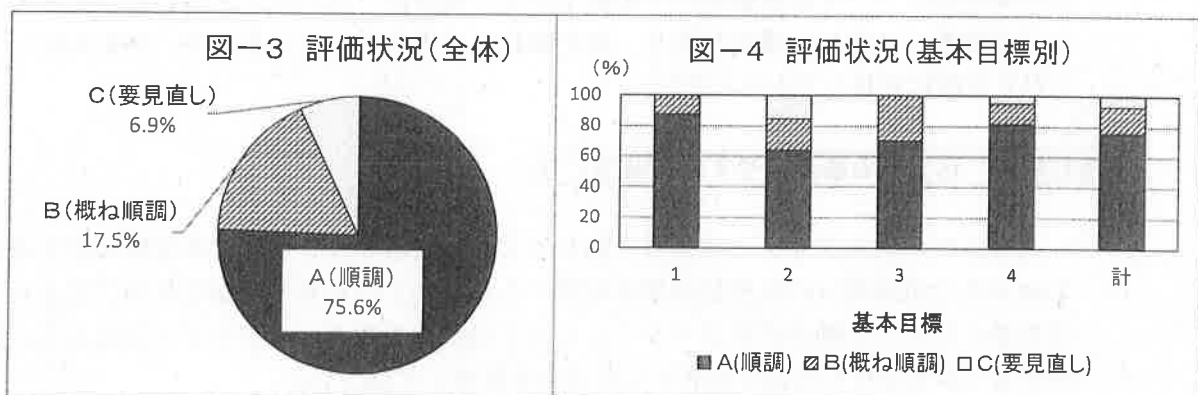
4 総合戦略の評価結果について

(1) 総括

「A（順調）」と評価されたものが99事業（75.6%），「B（概ね順調）」と評価されたものが23事業（17.5%），「C（要見直し）」と評価されたものが9事業（6.9%）となった。

表－2 主要事業の評価結果

基本目標	評価区分						主要事業数 (件)
	A 順調	(%)	B 概ね順調	(%)	C 要見直し	(%)	
1 新しい人の流れづくり	14	87.5	2	12.5	0	0.0	16
2 地域における仕事づくり	25	64.1	8	20.5	6	15.4	39
3 結婚・出産・子育ての環境づくり	12	70.6	5	29.4	0	0.0	17
4 活力ある暮らしやすい地域づくり	48	81.4	8	13.5	3	5.1	59
計	99	75.6	23	17.5	9	6.9	131
参考 H29年度の評価結果	91	75.8	21	17.5	8	6.7	120



(2) 基本目標別 意見提言 (抜粋)

基本目標1 新しい人の流れづくり

- 本県への移住者は、年代的には20代から30代の現役世代が多く、また、移住元としては大阪、東京、兵庫が多いとのことであるので、この現状分析を基に、具体的な「次の一手」、「狙い所」を今後の戦略にしっかり盛り込んでもらいたい。
- 移住者数は、本県人口に関して「出生率」と並ぶ重要な基礎データであるので、「移住者の定義」を適切に定めるのはもちろんのこと、その把握数値の精度が高まるよう、個人情報にも配慮しながら、市町村と協力し、転入者アンケートの内容、回収方法等に工夫を凝らしてもらいたい。

基本目標2 地域における仕事づくり

- 阿波とん豚については、出荷頭数の確保も大事ではあるが、せつかく品種改良する以上は、品質の向上、つまり、多少高額でも消費者に買ってもらえるような、全国から「徳島県の阿波とん豚を食べたよ。」と言ってもらえるような「ブランド化」を目指してもらいたい。
- 「^{ターン} ^{テーブル} Turn Table」には、「売上額」だけでは把握や評価ができない「徳島県(産物)のPR・知名度の向上」という役割があるので、特定の産業・企業にコミットし過ぎないように留意しながら、「徳島県産ブランド」の発展のため努力を続けてもらいたい。

基本目標3 結婚・出産・子育ての環境づくり

- 待機児童数については平成30年4月1日現在で33名にまで減少、また、介護老人保健施設については整備率が全国第1位と、徳島は「人」に、とりわけ「子ども」と「高齢者」に優しい環境があり、胸を張れる成果を残しているのので、声を大にしてこれを全国にPRしてもらいたい。

基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり

- 高等学校の防災クラブの実効性を高めるよう、災害ボランティア参加時の学生の安全確保策や指導職員の負担軽減策を検討するとともに、活動が低調なクラブにとっては目標となり、活動が活発なクラブにとっては更なるステップアップとなるよう、経験豊富な高等学校の取組を共有する交流会を開催してはどうか。
- とくしま食品表示Gメンの活動実績の評価には、立入検査件数もさることながら、立入検査の結果、問題のある事業者があったのか、それが減ってきているのかが重要であるので、検査結果等の観点からの指標も加えてはどうか。

5 戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」

	提言先	項目	意見・提言の内容
1	目安箱	徳島空港へのLCC誘致について	<p>国際線の就航が始まったが、このままでは四国や関西圏に来る観光客だけになってしまう。もっと空港を活用するため、四国に来た観光客がLCCで関東へ、東北へ、北海道へ、九州へ、また、その逆ルートで四国へ。四国のLCC起点空港になると、ホテルなども増え、活性化につながる。</p> <p>また、県民も各地域との行き来が増え、ビジネスでもプライベートでも充実した”暮らし満足度”アップにつながると思う。</p>
2	目安箱	SUPやマリンスポーツ体験イベント等について	<p>手軽に誰でも参加できるイベントのために必要なものは、更衣室、シャワーやミーティングルームを備えた建物、そしてボートを安全に水面に浮かべ、乗り降りができる設備と場所である。”広い駐車場”があることも重要である。</p> <p>徳島の川、海、森の自然の豊かさを多くの人に体験してもらるように、担当部署の違いを乗り越えて前に進めて欲しい。</p>
3	目安箱	空港やTurn ^{クーン} テーブル ^{テーブル} での藍染め製品販売について	<p>県内の障害者授産施設では、藍染めなどの製品を製造・販売しているが、生産量も僅かであり、採算ベースにはほど遠い。</p> <p>そこで、徳島阿波おどり空港や渋谷区Turn^{クーン}テーブル^{テーブル}内に^{あわのわ}awanowaブランドのショップを開設してはどうか。藍染め製品は、県外客の方がより興味を示すし、高級品だが、施設製造であればよりリーズナブルな価格設定が可能となる。</p> <p>いったん製品の良さを認識してもらえば、専門業者の高価格帯の製品販売につながると思う。</p>
4	目安箱	四国木工市や四国・インテリアマーケットの開催について	<p>徳島は日本六大家具産地と呼ばれており、とりわけ西日本では知る人ぞ知る産地である。徳島では衰退の一途だが、みんなが頑張っ立ち上がっているのが福岡県大川市で、春、秋に大川木工市を開催し、地場産業を盛り上げている。各社競い合い、切磋琢磨している。大川は世界発信を始めて何年にもなり、有名列車での起用もあって加速している。</p> <p>徳島県でも県主催で、四国や中国地方の企業も巻き込み、商談市を企画開催すべきである。続けることで産業となる。</p>

	提言先	項目	意見・提言の内容
5	目安箱	兵庫県との自動車以外の交通確立について	<p>国道28号線は神戸市と徳島市を結ぶ国道だが、大鳴門橋は軽車両(原付バイク・自転車)では往来できない。淡路島はサイクリングやツーリングのメッカとして人気で、神戸や姫路などの方が淡路島まで観光に来たら、ちょっと徳島も行くかな…ともなる。</p> <p>大鳴門橋や渦潮を堪能しながら対岸まで渡れる観光船を利用したり、大橋の3車線のうち1車線を軽車両専用にする方法や、淡路島南IC～鳴門北ICに軽車両を運搬できるバス(トラック)を定期路線便として営業するなど、どんな車両でも四国～関西を気軽に往来できるようにしてほしい。</p>
6	目安箱	四国八十八箇所巡りの世界文化遺産化について	<p>四国八十八箇所巡りを世界文化遺産に登録するため、国内外の宗教家や芸能人に四国八十八箇所巡りのPRをしてもらってはどうか。宗教にかかわらず、「人間の生き方を問う場」や「平和の象徴の場」として発信する必要がある。</p> <p>また、四国八十八箇所を舞台に宿泊型のトレイルチャリティーマラソンを行い、その収益を、景観保護や八十八箇所ごとに特色ある修行、民間企業の誘致や有機栽培食品の使用比率を増やした宿坊の整備、癒しの場所づくりに活用するとよいと思う。</p>
7	わくわくトーク	トレッキングコース及びサイクルスタンドの整備について	<p>祖谷の方は山が綺麗で景色もよいところがたくさんあるので、古い道をトレッキングコースにしてみてもどうか。</p> <p>また、海外から来るサイクリストの方々をよく見かけるので、サイクルスタンドの整備を進めて欲しい。</p>
8	目安箱	SUPやマリンスポーツの子どもイベントについて	<p>水の都でもある徳島ならではのマリンスポーツを子どもが小さなうちから色々体験させたいが、どのスポーツも料金がなくて家族では楽しめない。川や海が綺麗なので、子どもイベントやお得なマリンスポーツを定着させることで県外客も来るのではないかな。水都祭でも是非SUPを体験させてもらいたい。</p>
9	目安箱	徳島空港国際路線について	<p>徳島空港に国際路線を就航させられないか。単発のチャーター機でなく定期便なら地元の雇用も生まれるし、メリットはあると思う。隣の高松空港は国際便が毎日飛んでいるので、徳島でも絶対にやってもらいたい。</p>
10	目安箱	バイオトイレの活用について	<p>阿南工業高校が竹のパウダーの発酵作用を用いたバイオトイレを発案し、第15回高校生技術・アイデアコンテスト全国大会で最優秀賞に選ばれた。県としても、災害訓練などに参加していただいた住民の方に実際に使用してもらえばどうか。</p> <p>まだまだ試作品段階だが、学生たちの考えは後輩たちに受け継がれて、課題改善などの目標ができると思う。</p>

	提言先	項目	意見・提言の内容
11	目安箱	徳島を発展させるための提言について	<p>① 例えば、飲料メーカー、ビールメーカー、それに研究所等、自然と豊かな水を生かした製造業等を誘致すべきである。三好市池田町にある専売公社跡地など、お金をかけずに誘致できるのではないかな。</p> <p>② 阿波おどり等のノウハウを生かし、河川敷等の駐車場、鉄道を利用して、屋内外での若者グループ等のイベント誘致を押し進めてはどうか。</p>
12	目安箱	徳島市内を中心とするバス路線について	<p>徳島市やその付近の公共交通としてバスがかなりの路線数展開されているが、</p> <p>① 市バス、徳バス、委託路線を統合した路線図が存在しない。</p> <p>② 市内指定区間一律210円だが、指定区間内の移動で乗り換えるたびに210円払わなければいけない。</p> <p>③ バス路線同士の乗換えが実質徳島駅でしかできない。</p> <p>④ 運賃支払にICカードが導入されていない。</p> <p>といった問題点がある。</p> <p>徳島市内の公共交通を存続させていくためには、市民がバスを利用する文化を形成することが不可欠で、路線の再編だけでなくサービスの面でも向上させていくべきであると思う。</p>

